

(様式1)

自己評価票(参考例)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念はあるが以前そのまま、今後話し合い検討してより身近な物に変えていく必要がある	○	理念はあるが等ホーム独自の年度目標を決めて、皆さんが望まれるホームに鳴るよう対応している。今後は理念を一部見直す必要がある
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所に理念を掲げ、共有実践できている	○	生活そのものを支える事で、理念の実践はできている。問題が起こると皆で検討し、取り組んでいる
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	行事等に参加し、地域の方々と交流している。又、家族の方々にも理解していただいている	○	地域の方々と交流できる場面の設定を心がけている
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方はボランティアとして来て下さっている	○	場所的にも地域とは少し離れているので、立ち寄ってくださることは少ない
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事(学校の行事や地区の演芸会等)には参加し、地元の人たちと交流している	○	今後も地域の中で生活している事を、楽しみにしていただけるようなそれが活力になるよう支援する

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	特に今は行なっていない		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	意義は十分理解している。自己評価及び外部評価での要改善項目の改善に取り組んでいる	○	具体的な改善に向けて、職員が一丸となって取り組むことに意義がある。結果として連携がとれる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	平成19年1月より奇数月の第2月曜日に開催し、報告や話し合いを行なっている	○	改善事項があると家族の協力が必要なことも多くあり、会議に出ていただくことにより「生活の内容が良く分かり、より身近に感じられる。」と意見をいただき、協力をお願いしやすくなる
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	2ヶ月に1度開催される地域密着部会に参加している	○	運営会議で出た意見を密着会議にかけて、他施設の参考意見を聞くことができる。結果として地域にある地域密着型の施設と、交流が出来るようになった。今後も続ける事で、市と各施設の連携がとれる
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加したり、既に成年後見制度を利用しておられる方もあります。今後増えていくことも考えられる		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修会に参加すると共に、常に入居者がその立場となっていないか目配り、気配りをする必要がある	○	研修会への参加。小さな行為を見逃さない

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には別室に座っていただきゆっくり説明を行なうようにしている。納得して契約を行なっている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員の方に苦情を聞いていただく機会を設けている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月利用料の請求書を発送する際、今月の暮らしぶりを記入したたよりを同封している	○ 面会が少ない方もあり、活動の写真を1枚同封する事により家族よりお礼を言われることがある。今後も報告は継続する
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「苦情受付」のポスターを掲示し、受付箱を設置している。又何でも言っただけの関係作りをしている	○ 面会時に意見を言われることがあり、職員間で話し合い改善している
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が運営に関する意見を言う機会は少ない。今後はそのような場を設定して意見を反映させたい	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の身体的機能低下により時間内に対応出来ないこともあり、勤務調整を行っている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまで専夜勤者が5名退職している。しかし日勤者の退職は1名のみで、入居者への影響は見られない	○	新しい職員が入って来ると、入居者に紹介して早く馴染みの関係を作れるよう対応している。又移動で不穏になられても、個別対応する配慮をしている
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症関係の研修のみならず、介護に関する研修には参加している。報告書は各部署閲覧している	○	研修を受けてくると苑内研修で復命し、皆に周知徹底している
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着会議で交流の機会を持っている。それ以外でも事業所の訪問をしている	○	ネットワークを確立する事で、様々な情報を得ることができる
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間の交流を図りストレスを軽減するためボーリング大会や旅行等取り入れている		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各種研修や勉強会等に参加し、自分の意識の向上に努力している。又、自己評価等取り入れている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用されてからは本人との話をゆっくり行ない。気持ちを聞きとるよう努力している	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族は本人の代弁者であることがあり、ゆっくり話を聞く機会を設定するよう努力している	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	生活歴等ゆっくり聞きとり、求めておられるものは何か見極める必要がある	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	これまでのケアと違う事を開始する時には、本人の納得を得てケアを開始している。又必ず家族に確認を入れ意見をいただくよう対応している	○ これまでと違うケアを開始する時は、カンファレンスを開き再三の確認をする
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の中で入居者から学ぶ事は多く、それを以後の生活に活かす対応をしている	○ 一緒に過ごす時間が長くなると、馴染みの関係ができる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	高齢化、重度化しつつあり、常に家族に状況を伝える必要があり、そのことにより良い関係ができている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	皆さん家族関係ができしており、一部の方の中間に立ちよい関係ができるよう支援している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は家族の方が対応しておられ、一部の方のみしか対応していない	○	住み慣れた地域に出かけていくケアの実施
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆さん仲良くされており、関わり合いをもたれている。時には孤立されない対応をしている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	これまでに4名の方が退所されている。併設の美川苑に入られた方とは関係が続いているが、他の方とはない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が希望を言われる場合は、対応しやすい。しかし希望があっても言い出しにくい方がおられる。そのようなそぶりを見逃さず、個別に意見を聞いて対応している	○	本人は何が希望か日頃より話し合い、個別の対応が出来る職員サイドの話し合いをしている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	現在、センター方式を活用して生活歴の見直しを行なっている。これまで利用されていたサービスの状況等確認している		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	皆さんなかなかこちらの思うようには過ごしておられません。しかしそれも生活歴からうかがうことができ、総合的にその人を認めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画には本人や家族の意向を取り入れ、職員全員で見直しを行なってケアプランに取り入れている	○	状態の変化によりカンファレンスを行ない、介護計画の見直しをしている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的見直しや身体の変化に応じて随時カンファレンスを持ち、現状に合うプランを作成している	○	家族の協力が必要なことも多くあり、密な連絡を大切にしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録に基づき、身体の状態等把握したうえでケアプランに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人やご家族からそのような希望があれば、対応している	○	今後も、要望を出していただきやすい環境を整える
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	特にボランティアや学校関係の方に協力していただき、地域と町ぐるみで支援していただいている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は行なっていない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は行なっていない		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から主治医に対応してもらっている方もおられるため、本人・家族の希望される医師と連絡をとっている	○	高齢の方が多く、連携は特に必要と感じている
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医に通われている方は2名おられ、1名の方は受診対応しています。結果を家族に報告し、時には同行していただいている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医の指導のもと、協力医看護師や施設看護師に相談・助言をお願いしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	今年度長期（1ヶ月）の入院があり、早期退院できるよう病院関係者と連携をとりました		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴い、日頃より本人とよく話し合う。また家族の意見を参考にしながらその都度対応し、話し合うようにしている	○	家族には、終末をここで迎えることが出来ないことを定期的に話する。次の段階のことを聞くようにしている
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化は確実に進んでおり、家族にも今の状態を常に伝えるよう対応している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在はありますが、昨年1名特養に移動されました。話はしましたが、全体を含めた入所前のカンファレンスを行なわなかったので、今後は必要だと思う	○	退所前、次に入られる施設や病院の方との事前の話し合い
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人の名前の書かれているものはシュレッダーにかけ処分し、個人情報の保護を心がけている	○	本人の人格を尊重し、やさしい言葉かけで対応している
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定の重要性を重視し、自分で納得した生活を送っていただくための支援		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	当ホームでもほとんどの方がマイペースで、職員サイドの意見より本人のペースで暮らしておられる	○	無理に皆さんと同じことをしていただくのではなく、その人がしたいことをしたいようにして生活していただいている
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	現在は苑に来られるハッピー号（業者）の利用が多い。本人が他を希望されることもない		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昨年の評価で指摘を受けたので、できる限り同じ空間で食事を摂るよう工夫している	○	献立作り・食事作り、後片付けは入居者と共に行っている
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人より飲酒や喫煙の訴えは現在のところない。おやつ等、買物に出た時に選んでいただいている		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	現在、おむつ使用の方はおられません、それに近い方が4名おられます。他の方に気付かれないような配慮を行なっている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望がかなうよう対応している。一人で入浴できる方は1名で、他の方は一部介助、または全介助で対応している	○	自分から希望される方よりされない方が多いので、タイミングを見計らって入浴していただいている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	に中の運動や行動を増やしたりして、安眠に導く対応をいっている。又、ゆっくりと話を聞いて心身の安定を図っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の役割や、台所での手仕事等を日課とされている方もある	○	高齢になられ寝ている事を好まれるが、台所仕事を手伝っていただく等の声かけをしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方には預り金の中から、本人が希望されるものを選んでいただき、支払いされることへの援助をしている	○	全員にお金を使うということを思い出していただけるような対応を支援していきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の買物や、本人が希望される所に出掛けられる対応をしている	○	中には高齢の方もおられ、出たがられ無い事も在ります。そのような時には地域をドライブして帰るなど対応している
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	今年度は入居者・職員全員で、入居者より行ってみたいと希望の出た石見銀山に出かけてきました。ご家族にも参加していただき、楽しい時間を過ごせました	○	今後も続けていきたいと考えている
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	面会が困難な家族や姉妹より電話があったり、こちらからかけたりされている	○	手紙を書かれることが少ないので、今後は元気な便りを出すよう支援したい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪ねて来られるように、面会時間は設定せず自由に来ていただけるよう工夫している	○	居間で面会をゆっくりできるコーナー作りを行なう
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修会には必ず参加し、復命して職員全員が周知徹底させている	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に自分で内側から鍵を掛けておられることはあるが、職員が掛けることはない。玄関も同様に日中は開いている	○	現状を維持し、今後も施錠はしない
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は居間にいる職員が側に座って記録をとる等の見守りを行なっている。夜間は居間に座り、全体を見守っている	○	歩行が困難になられている入居者がおられ、今後は見守り重視をどうしていくか、もう一度考える時期になっている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の私物は原則居室においており、本人の好まれるお部屋作りをしている	○	押入れがなく、季節外の布団や衣類の置き場に困っている。しまう目隠し等、部屋作りを考える必要あり
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険等感じたこと、事実をヒヤリハットに記録し、事故防止に取り組んでいる	○	マニュアル化されている内容以上のこともあり、再三の勉強会が必要になっている
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員全員、毎年救急法の勉強会に参加して、緊急時の対応について周知徹底を図っている	○	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年6回行っており、美川苑と合同で消防署の立会いも受けている。地域の消防団の協力を得て、充実した避難訓練ができるよう対策が出来ている	○	回数を重ねるごとにどちらに逃げるか、皆さんに飲み込んでいただけた。しかしマンネリ化することなく、色々な対応をし対策を考え課題とする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	傷や転倒等の報告は家族に連絡し、ヒヤリハットにあげている。全員で気を付けることによりリスクが減っているように思う。	○	車イスの移動を最小限にし、手引き誘導介助して側にいる時間を増やすよう対応している
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	病気の早期発見は、体調の変化やその方の発するサインを見逃さないこと。少人数で側に居ることにより実施できている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の変更等があった時に、薬局の出される薬の内容表に目をとおしている。又服薬ミスは事故に繋がる可能性があるため、3重のチェック体制をとっている	○	新薬を出された場合、身体に変化を起さないか些細な事でも見逃さない対応をする
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘が及ぼす影響はことの他大きく、情緒不安定になられたりテンションが上がったり下がったりと影響しやすい。下肢の筋力が低下している方もおられ、夜間不穏になりやすいので早めの気づきが必要。運動・マッサージ・繊維の多い食品を取り入れる等の対応をしている	○	便秘から不穏になられ、自分で自分が抑えられない方がおられるので特に気を付けている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きは、日々の日課として定着している。自分で磨けない方には、職員がお手伝いしている	○	これから寒くなると特にうがいをして頂く様、援助している
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自分で喉の渇きを訴えられる方は、適度な水分が補給されています。しかし自分でその事を分かっておられないかたもおられ、定時の水分補給を実施している	○	夏の暑さが堪えたのか食事量が減って痩せてこられた方がおられ、代替えの食品を一日の間に何度か食べて頂くよう工夫している。高齢でもあり、一度痩せるとなかなか元には戻れないのが現実です。今後も継続して栄養補給する

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染に関するマニュアルがあり、予防の大切さを勉強している。インフルエンザに関しては職員はもちろん、入居者にも家族の同意を得て予防接種を受けていただいている。又職員も風邪等持ち込まないことを実践している	○	毎日出勤時には、うがい手洗いを励行している
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日買い物に出かけ、古い食品は残さない。又調理器具に関しても熱湯消毒や漂白剤を使用して、衛生に注意している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	面会時間は特にしていしておらず、玄関先にはプランターを置いて入りやすい雰囲気になっている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて、皆さんの好まれる空間作りを心掛けている。小道具の利用を活かして、心安らぐ場所を設定するようにしている	○	環境は心身に与える影響が大きいため、皆さんの意見を大切にしている。ちょっとした小さな空間を、心安らぐ空間にできるように工夫をしている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になれる場所づくりは玄関の長いすや、廊下の一人かけの椅子・リビングの皆で話せる場所など色々と準備している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたなじみの家具や仏壇等、 持参されている方がおられる。身体の変化や 行動の範囲内で、その人に合うレイアウトを 考えている。最近、その方の体力に合わせ た部屋作りを心掛けている	○	個人の個性を尊重し、自由に部屋作りをされ ている方もある。しかしこちらが準備した家 具のみで暮している方もおられ、小物などで 部屋を落ち着ける場所に作る必要もある
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	毎日居室・居間の換気をしている。基本的には朝 食事にいられると居室の空気を入れ替えていま す。又皆さんで過ごしておられるリビングは、日 当たりも良く洗濯物を干しに出たり、散歩したり と常に開け閉めしている	○	皆さんの意見を聞きながら、夏のエアコンは27度 に設定しており冷えすぎない対応をしている。又 冬には床暖房を入れたりして、23度を目処に皆様 の様子を見て調節している
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	歩行が自力では困難な方には、備品の車いす歩行 器を使用している。又洗濯物を干す時は、物干し 台の高さを調節して作業しやすい高さにして いる		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	部屋の作りが似ており、部屋の入口に表札を出し て自室の表示をしている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	玄関前に花を植えたり、畑で野菜を育てたり衣装 ケースに田植えをして育てる事を楽しんでもらっ ている	○	自分の育てた野菜は残さず食べておられます

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)